



# のぞみ

令和5年10月  
発行  
湖陵小学校  
第148号

## 「あいさつ」の力

校長 落合 克彦

朝、学校の入口付近に立っている  
と、子どもたちが「おはようございま  
す!」と、気持ちのよいあいさつをし  
てくれます。中には、少し離れたとこ  
ろからでも、自分から進んで先に大き  
な声であいさつをしてくれる人もい  
ます。また、言葉を発するだけでなく、  
私の顔を見て目を合わせてあいさつ  
してくれる人もたくさんいて、とても  
嬉しく思っています。

私は、登校してくる子どもたちをし  
っかりと受け入れたい思いや、あいさ  
つの声かけをしたい気持ち(いわゆる  
「あいさつ運動」)、また安全な登校を  
見守りたい思いなどから、毎朝立つこ  
とにしているのですが、理由は他にも

あります。それは、あいさつを交わす  
ことで、毎朝子どもたちから、私自身  
が「元気」をもらっていることもその  
一つです。よく『子どもたちから元気  
をもらう』という言葉を目にするこ  
とがありますが、本当にその通りな  
のです。私も毎朝常に元気百パーセ  
ントというわけではなく、そうでな  
い日もあるわけですが、たくさん  
子どもたちと次々にあいさつを交わ  
していくうちに、不思議と「今日もが  
んばろう!」という気持ちになっ  
てくるのです。

こうした思いになるのは、私だけ  
のことではないと思っています。こ  
れまでに勤務していた学校において  
は、地域の方からお手紙をいただい  
た経験もあります。その内容は、毎朝  
その方が通勤されるときに、当時勤  
務していた学校の子どもたちが元気  
よくあいさつをしてくれたことで、  
その方も元気をもらって仕事を頑張  
り続けることができた、というお礼  
のお手紙でした。この気持ちに私自  
身もとても共感でき、当時子どもた  
ちにも紹介したことがありました。

「あいさつ」には、こうした不思議  
な力があると思っています。たかが  
「あいさつ」かもしれませんが、され  
ど「あいさつ」だと思っています。人  
が社会生活を行っていくうえで、や  
はり他者とのコミュニケーションは  
とても大切だと思っています。コミュニ  
ケーションをとって人とのつながり  
をもつことが、生活を送るうえでの  
安心感や勇気につながるのではない  
かと思っています。

お互いが元気な毎日を過ごすため  
にも、今後も私自身気持ちのよいあ  
いさつを続けていきたいと思ってい  
ます。

## 前期のあしあと

4月	10日	着任式 始業式
	11日	入学式
	12日	校外児童会
	13日	身体測定
	18日	四、五年出雲市学力調査
		六年全国学力調査
5月	27日	家庭訪問
	28日	家庭訪問
	2日	家庭訪問
	17日	六年市陸上大会
	23日	三、六年交通安全教室
	26日	学習公開日
6月	30日	一、二年交通安全教室
	1日	六年修学旅行
	2日	六年修学旅行
	6日	五年宿泊研修
	7日	五年宿泊研修
	13日	避難訓練
	14日	なかよし班活動
	27日	学習公開日
	27日	校外児童会
7月	13日	終業式
	20日	PTA奉仕作業
8月	29日	始業式
	30日	身体測定
9月	20日	体育会

### 前期の学習より

一年生は夏休みの宿題で夏休みの思い出の作文を書きました。

なつやすみにサーカスをみたよ

一ねん はせ川 はく

ぼくは、なつやすみに、かぞくとサーカスをみにいきました。サーカスでは、ぼうしをかぶるひとがどんどんできて、びっくりしました。とてもおもしろかったです、またらいねんもいききたいとおもいました。

なつやすみにゆうプラザにいったよ

一ねん もり山 さや

わたしは、いとこたちとゆうプラザにあそびにいきました。

わたしは、すいすいおよぎました。プールで、ぴよんぴよんとんだり、でんぐりがえしをしたりしておよぎました。

じょうずにおよげてうれしかったです。

なつやすみにゆうプラザにいったよ

一ねん 大ぐに たつき

ぼくは、なつやすみにゆうプラザにいきました。かぞくといっしょにいきました。ながれるプールであそんだり、すべれるプールでおとうさんとすべったりしました。たのしかったです。

らいねんもまたいきたいです。

おまつりにいったよ

一ねん ささ木 あかり

わたしは、なつやすみにおまつりにいきました。かぞくといっしょにいきました。みずふうせんをたくさんとりました。とてもうれしかったです。

また、らいねんもいきたいです。



1年生活科  
通学路を歩こう

はるを見つけたよ

二年一組 石飛 ゆり

四月十四日 金よう日  
わたしが見つけたはるは、かえるです。みどり色で小さいかえるを見つけました。わたしは、さいしよはかえるがきらいだったけど、よく見たらちよつとかわいくて、かえるがすきになりました。校ていの水たまりに、見つけたかえるを入れたら、すいすいおよいでいました。およぎ方がきれいでした。かえるを見つけてうれしかったです。

一年生となかよくなったよ

二年一組 柳樂 ほまれ

六月一日 木よう日  
きのう、「みんななかよしの会」がありました。さいしよに、はじめの会をしました。つぎに、ミニゲームをしました。それから、学校たんけんに行きました。わたしは、教しつのせつめいをしたけど、上手に言えてうれしかったです。声もきんちようせずに、がんばって大きく言えました。一年生は、ちゃんと話を聞いてくれました。さいごに、おわりの会をしました。一年生となかよくなれてうれしかったです。

学校たんけんをしたよ

二年二組 やぶ中りく

五月三十一日に、一年生と二年生で「みんななかよしの会」をしました。学校たんけんでは、一年生に分かりやすく教室のせつめいができるかしんぱいだったけど、じょうずにできました。一年生がいっしょけんめい、ぼくの話聞いてくれてとてもうれしかったです。一年生が教室ごとのもんだいをつくのがじょうずで、いろいろなシールをはっているのを見て、ぼくもとてもうれしい気もちになりました。

体いく会がんばったよ

二年二組 石とび あゆと

ぼくが体いく会で心のこったことは、おうえんがっせんです。色べつ会で六年生からおうえんがっせんのしかたや、ダンスのおどりがたを教えてもらいました。六年生のお話をよく聞いて、れんしゆうをがんばりました。体いく会の日は、はじめにおうえんがっせんがありました。みんなに見られてドキドキしたけど、ずっとずっとがんばりました。おうえんがっせんが一番きんちようしたけど、上手に歌を歌ったりおどったりできてうれしかったです。

体育会をしたよ

三年一組 中尾 瑠希

三年生のナイスキャッチで、わたしは、さいしょはきんちようしたけど、やっていたら楽しくなりました。一回目は入らなかったけど、二回目は入ってよかったです。

おうえん合せんでは、ちゃんとせりふをおぼえて言えまし、ダンスもちゃんとできていてよかったです。赤組の一年から六年生みんなが、きょう力したおかげで、一位になれたし、楽しい体育会にできてうれしかったです。

グッデイに行ったよ

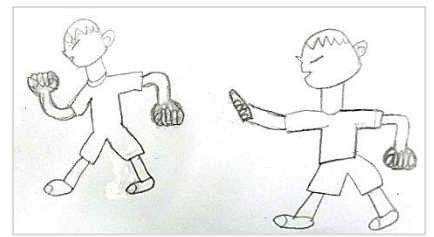
三年一組 持田 千奈

わたしは、九月二十六日に、社会科見学でグッデイに行きました。

グッデイでいろいろなことを学びました。バックヤードには荷物がたくさんありました。ジュースやビールや野菜とかが、たくさん入っていました。

売り場には、しゅんの物がたくさんありました。たとえば、さつまいも、かき、くり、ぶどう、なしなどがありました。

わたしは、買い物に行くときは、はたらいにいる人をお願いながら買物しようと思いました。



(絵 3年1組 藤原れい)

エネルギーセンターの見学

四年一組 大峠 桃嘉

エネルギーセンターに見学に行つて、初めて知ったことやおどろいたことがいくつもありました。

まず、ごみの分別が何種類もあるという事です。いっしょにはいけないゴミや、リサイクルに出さなければいけないゴミがあるのに、私は燃やせるゴミに入れていたものがありました。

それから、ゴミの量です。出雲市では、四人家族の一年間のゴミの量が七〇〇kg以上、出雲市全体では四万八〇〇〇t以上で、予想をはるかにこえる量でした。

私は、きれいな出雲市をこれからも守つていかないとはいけないと思いました。そのために、家でもできる「3R」をやつてみたり、食品ロスを防ぐために食べ残しをしないようにしたり、ポイすてされたゴミをひろつたりなど、できることをしていきたいと思いました。

来原浄水場の見学

四年一組 山本 美桜

来原浄水場に見学に行きました。井戸からわく地下水はすぐきれいでした。でも、浄水場の方が、このままではばいきんなどがいて、飲めないと言われました。

来原浄水場では、何台もの機械を通して、色々な種類の薬品を使って消毒やろ過をして、安全に飲めるようにした水を出雲市のほとんどの地いきに送っています。その水を使っているのは、一ぱん家庭だけでも四万五千軒、十一万二千人の人たちと聞いて、びっくりしました。出雲市内の水道管を全部つなげると、一七〇〇km以上だと言われて、もっとびっくりしました。北海道から鹿児島ぐらいくまらなそうです。

こんなにくまらな水を、浄水場では十四人の方が交代で作業して作つておられます。

私は、水をそんなに大切なものと分かつずに、ふつうに使っていました。水を作つて、みんなのために送り出すことが大変だと分かったので、これからは水のこと、水をきれいにしてくださった人のことを考えて使つていきたいと思いました。

楽しかった江津研修

五年一組 小川 蒼葉

私が楽しかったことは、やぐら作りでブランコを作ったことです。ブランコの両はしを結ぶのがとてもむずかしかったです。特に楽しかったのは、最後にみんなでブランコやハンモックにのつたことです。

今回の江津研修で私は協同が大切だなと感じたので学校生活でも共同をがんばりたいです。特に、友達のいいところを見つけ合うことをがんばりたいです。

江津の思い出

五年一組 重田 栄路

こんなのかんたんだと思つていた火起こしが意外にもむずかしかったです。火だねは、けっこう出るけれど、火はなかなかつきませんでした。最後にぎりぎりまで火がついてうれしかったです。火がつきそうになかったとき、あきらめずに続けてよかつたなと思いました。

学校で生かしていきたいことは、優しい心をもって相手の気持ちを考えてコミュニケーションをとっていききたいです。この思い出を生活に生かしていきたいらいいと思います。



4年社会科  
浄水場見学

楽しかったしがんばった江津研修

五年二組 持田 權

僕は江津研修で心に残ったことが三つあります。

一番心に残ったことは、やぐらづくりです。理由は、班のみんなと協力してできたし、最初はあせって上手くできなかったけど、最後は上手くできたからです。二つ目は、カプラです。みんなに気を配りながら、自分の作業に集中できたからです。三つめは、体育館活動です。楽しめたし、息抜きになってよかったです。

ケンカもあつたけど、最後は必ずうまくいったことや、みんなでしかできないことができたので江津研修に行つてよかったなと思えました。

やぐらづくりが上手くいった

五年二組 山本 蓮斗

ぼくは、やぐらづくりの説明を初め聞いたときは、「やぐらとかはしごとかハンモックとかは絶対できないだろうな」と思っていました。けれども、作ってみたら、やぐらは大変だったけれども、ハンモックやしごは簡単に作れてびっくりしました。その後は、ブランコを作ってみなで遊びました。

とても面白かったので、またみんなで協力して何か作りたいです。



5年江津研修  
林間でのやぐらづくり  
(ハンモック)

陸上大会をふり返って

六年一組 ピニエント山本仁菜

わたしが陸上練習でがんばったことは、走り高跳びで、ふみ切りの時にしっかり手を上げること、抜き足の位置を高くすることです。家でもたくさん練習しました。すると、少しずつ記録が伸びてきました。リレーではバトンパスの練習をがんばりました。練習の成果が出て、大会当日は一位がとれてうれしかったです。

また、走り高跳びで、いっしょに競技をしている他校の人が一〇五センチメートルを跳べなかったとき、三原舞奈さんと一緒にアドバイスをしたら、三回目その人が跳ぶことができて、自分のことのようにうれしかったです。相手の人も「ありがとう。」と言ってくれて、心が温かくなりました。

陸上練習や大会の経験を生かして、いろいろな人に話しかけて仲良くなりたいたいし、どんな人でも協力してがんばりたいです。

体育会をふり返って

六年二組 梶田 梨心

私は、人前で大きな声で話すことが苦手です。手ではあまりできなかったです。だけど、この体育会や色別会のおかげで、勇気を出して大きな声を出すことができました。「人前で大きな声を出す」という壁を乗り越えることができました。

この体育会ができたのは、一年生から五年生のおかげだと思っています。私たち六年生だけでは、こんなに素晴らしい体育会はできなかったと思います。下学年のみんなが協力してくれたり、私たちに嬉しかったです。下学年の頑張りにも応えたいと思います。応援合戦でいつも以上に声を出すことができたり、暁の超特急リレーや徒競走の時に、最後まであきらめず走ることができたりしたと思います。

体育会での経験を生かして、みんなの前でも堂々と大きな声で話せるように頑張りたいたいし、これからもみんなと協力してがんばりたいです。



体育会  
6年 団体種目  
ザ ファイナル リレー

健やかな心とからだを育てるために

養護教諭 松村 理恵

皆さんは、よく眠れていますか？ おいしく朝ごはんを食べていますか？ 必要以上にメディアに時間を取られていませんか？ そして、子ども達ははどうでしょう？

湖陵小学校では、今年度も健康な心と身体を育てるためにチャレンジ週間に取り組んでもらっています。近年、意識が高くなってきたように感じています。しかし、分かっていてもついメディアの時間が長くなる、夜更かしをしてしまう、宿題が後回しという人もいます。それはそうです。テレビもゲームも動画も面白く、みんなに長い時間やったり、見たりしてもらうように作られているからです。でも、それでよいのでしょうか？

九月の防犯教室で、警察の方から四六年生にお話をしてもらいました。その中で、家庭でルールを作ることの必要性とヒントをお聞きしました。ルール作りのヒントは①寝る時刻を決めよう②親守で守れるルールにしよう③まずは守れるルールから、というものです。大切な睡眠時間を削らないように、帰ってから寝るまでの時間を有効に使えるように、お子さんと我が家のルール作りを試してみてください。

